

はじめに

わが国では少子・高齢化が急速に進み、近い将来、3人に1人が高齢者という超高齢社会を迎えようとしています。

本市におきましても、現在では高齢化率が18%を超え、今後「戦後の第一次ベビーブーム世代（団塊の世代）」といわれる方々が高齢期を迎えるなど、さらに高齢化が急速に進むことが見込まれています。

こうしたことにより、元気な高齢者が増える一方で、増加するひとり暮らしや、認知症等により介護を必要とする方々が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる総合的な支援体制の構築が喫緊の課題となっています。

こうした課題に対応するため、平成18年3月に策定した「第4次高齢者保健福祉計画・第3期介護保険事業計画」を見直し、新たに「健やか！安心！いきいきシニアライフ」を高齢者保健福祉・介護ビジョンに掲げ、平成21年度を初年度とする3か年計画「第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画（いきいき安心プラン）」を策定しました。

この計画は、「高齢者の多様な社会参加と生きがいづくりへの支援」、「利用者の視点に立ったサービス提供体制の確立」、「介護予防と地域リハビリテーションの推進」、「自助・共助・公助の連携による地域包括ケアシステムの確立」を基本方針として、すべての高齢者が、自分らしくそれぞれの生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも健やかに安心して暮らせるまちを目指すものです。

今後とも、本計画に基づき、市の目標であります「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」の実現に向け、住んでよかったと実感できるまちづくりに取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

おわりに、本計画の策定にあたり、様々な立場からご審議いただいた介護保険事業運営協議会及び高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画作成委員会各委員の皆様をはじめ、高齢者生活実態調査や住民説明会並びにパブリック・コメントにおいて貴重なご意見をお寄せ下さいました多くの皆様に対し、心からお礼申し上げます。



平成21年3月

船橋市長 藤代孝七